

令和7年度 埼玉県利根保健医療圏難病対策地域協議会 事前アンケート 市町の取組み

資料5

市町独自の難病患者へのサービス・支援の取組み

	行田市	加須市	羽生市	久喜市	蓮田市	幸手市	白岡市	宮代町	杉戸町
担当課	福祉課	障がい者福祉課	社会福祉課	障がい者福祉課	障がい者支援課	社会福祉課	福祉課	福祉課	福祉課
市町独自の難病患者支援の取組み、登録証所持による独自サービス等がありましたら記載をお願いします。 (例:お見舞金の交付、登録証所持により市内循環バスが無料になる)	なし	なし	なし	・難病患者見舞金(10,000円/年) ・久喜市内内循環バス無料対象 ・久喜市デマンド交通利用料の半額対象 ・くきふれあいタクシー(補助タク)対象 ・難病患者相談員の設置 ・難病患者相談を実施(年4回予約制)	・難病者見舞金支給事業指定難病・小児慢性特定疾病医療等の受給者証を交付された方に対し見舞金10,000円(年度に1回)を支給する	なし	なし	・福祉タクシー券 ・自動車燃料費補助券の交付	なし
指定難病受給者の重度訪問介護等の実績		なし	2件(令和7年度実績、2件とも身体障害者手帳所持)	無し	R7.11.1時点 2名	なし		なし	

避難行動要支援者名簿・個別避難計画

		行田市	加須市	羽生市	久喜市	蓮田市	幸手市	白岡市	宮代町	杉戸町	
名簿作成担当課		福祉課	地域福祉課	社会福祉課	社会福祉課	危機管理課(とりまとめ)障がい者支援課(障害者情報)子ども支援課(障害児情報)長寿支援課(介護認定情報)在宅医療介護課(高齢者ひとり暮らし情報)	危機管理防災課(取りまとめ)社会福祉課(障害者情報)介護福祉課(介護認定情報)	福祉課	健康介護課	危機管理課	
名簿登録者数	R6年度	全体数	災害時 3,515人 平常時 2,083人 (R6.12.1時点)	災害時 17,303人 平常時 6,752人 (R6.9.30現在)	5,669人 (R6.9現在)	38,661人 (R6.10.1現在)	2,166人 (R6.12.1現在)	7,097人 (R6.12.1現在)	6,140人 (R6.8.1現在)	786人 (R6.4.1現在)	災害時 5,320名 平常時 3,035名 (R6.11月末現在)
		難病患者の数	災害時 難病患者 16人 平常時 6人	災害時 難病患者 68人 平常時 4人	4人	把握していない	—	—	—	—	うち難病患者 31人
	R7年度	全体数	災害時 3,436人 平常時 1,640人 (R7.11現在)	災害時 18,024人 平常時 6,546人 (R7.9.30現在)	3,507人 (R7.9現在)	36,870人 (R7.10.1現在)	2,460人 (R7.11.1現在)	7,860人 (R7.12.1現在)	6,529人 (R7.12.1現在)	547人 (R7.10.1現在)	災害時 6,296名 平常時 3,216名 (R7.11月末現在)
		難病患者の数	災害時 難病患者 45人 平常時 7人	災害時 難病患者 123人 平常時 8人	11人	把握していない	不明(未集計)	—	4人 (R7.12.1現在)	—	うち難病患者 33人
名簿の更新方法		年1回更新。障害者及び要介護の新規対象者へ、郵送により確認。高齢者のみ世帯及び、独居高齢者宅へ民生委員が戸別訪問し確認。	避難行動要支援者名簿は、高齢者福祉課、障がい者福祉課所管の高齢者情報、要介護情報、障がい者手帳情報各システムと連携し、随時更新している。	通常、年に一度、高齢者関係調査、要介護認定(3.4.5)を受けている方、障がい者手帳の交付を受けている方の新規対象者へ郵送により確認、更新している。 ※R7は、すでに登録されている方にも調査(内容更新)を実施し、登録者を整理した。	関係所属所が保有する各種情報を要援護者見守り支援台帳登録システムに取り込み、更新を行っている。 ※年2回更新(4月、10月)	関係課がそれぞれ業務において、名簿を回収し、随時システムに入力、更新を行っている。	住民情報と障害者手帳交付情報、介護認定情報等を突合せ、更新している。	毎月月末時点の住民情報及び対象者(要介護者、障害者)の情報をシステムへ反映させている。	年1回更新	年1回 新規対象者に郵送し、周知。 その後、随時更新。	
個別避難計画の作成	R6年度作成数	作成済 3人	作成数 6,752人	0人	作成済 2,530人 (R6.10.1現在)	作成数 676人(R6.4.1現在)	3,346人 (R6.12.1現在)	1,723人	24人 (R6.11.30現在)	作成数 1,764人	
	R7年度作成数	作成済 110人	作成数 6,546人	1,237人 (R7.9現在)	作成済 2,328人 (R8.10.1現在)	作成数 620人(R7.11.1現在)	4,133人 (R7.12.1現在)	2,463人 (R7.12.1現在)	7人 (R7.11.1現在)	作成数 1,619人	
福祉避難所数(公表の可否)		12(可)	31(公表可)	14(公表可)	31カ所(可)	3カ所(公表可)	12(可)	4カ所(R7.4.1現在)公表可	12	3(可)	

難病患者の個別避難計画の作成を進めるうえでの課題

	行田市	加須市	羽生市	久喜市	蓮田市	幸手市	白岡市	宮代町	杉戸町
R6年度の内容	人工呼吸器やバッテリーなど、避難時に携帯しなければならない機材等が多く、避難支援を行う方の負担が大きい。また、難病は馴染みが薄く、避難時及び避難生活上でどのようなことに留意しなければならないか、想像がしにくい部分がある。このため、要支援者・支援者としてあらかじめ顔の見える関係を作っておくことが重要とみられる。	災害時要援護者名簿に登録された人のうち、特に支援が必要と思われる人を対象とした戸別訪問調査を実施中	個別避難計画について、優先度を定めて進めていきたいと考えており、その優先度の決定方法について今後検討していく。また、協力機関の選定方法や依頼についても併せて検討したい。	個別避難計画を必要な方に作成していただくために、改めて制度の周知が必要だと考えている。区長等に再度協力依頼をする予定。	<経過>避難支援等関係者の自治会組織と名簿等の提供と更新について、調整を行っているが、難航している。 <現状>避難行動要支援者側と支援関係者側共に、災害時避難行動要支援者避難行動要支援制度は、災害時発生時に迅速な避難行動要支援者が、自信を助けるための支援者を定め、その個人情報を行行政に登録して、万が一の際には登録情報を避難支援等関係者と共有して、避難の支援を行う共助の制度だと理解されていない状況。	難病患者に限ったことではないが、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の関係については、防災担当課、障がい福祉担当課、介護福祉担当課と連携し運用を行っている。 1年に1度名簿の更新を行い、協力いただける自治会や自主防災組織、民生委員・児童委員への提供を行うなどして、体制の整備を図っている。現状として、難病患者に特定した避難の必要性の把握は行っていない。	今年度から、高齢介護課の在宅要援護高齢者調査との一体的実施を検討している。また、周知チラシのデザインも一新する予定である。	地区防災会を中心に個別避難計画の作成に取り組んでいる。引き続き対象者の個別避難計画の作成に取り組む。	当町では、避難行動要支援者登録制度の申請書内に個別施設計画に位置付ける内容を記載しているのだが、実効性のあるものとなっていない。
R7年度の経過と現状	加須保健所から難病患者の情報などを提供いただき、難病患者の把握に努めるとともに、個別避難計画の作成について、依頼を行っている。	令和6年度に実施した戸別訪問の調査結果をもとに、直接避難について、ケース会議を実施する予定。	難病患者の方1名について個別避難計画をもとに災害時に対応できるよう、加須保健所主導で、本人やご家族を含め、市と各関係機関で、ケース会議を実施。現在作成を進めている。 市では、作成の優先度が定められていないため、引き続き検討していく。	個別避難計画を必要な方に作成していただくために、区長・民生委員・自主防災組織・居宅介護支援事業所に周知の依頼を行った。 現状は登録数が減少傾向にあるため、今後も制度の周知に努めたい。	<経過・現状>避難支援等関係者の自治会組織と名簿等の提供と更新について、調整を行っているが、難航している。 個別避難計画の策定を推進すべく、避難支援者を対象とする個人賠償責任保険へ加入した。次年度は支援者・要支援者の負担った怪我に対する補償制度費用保険への加入を検討している。	難病患者に限ったことではないが、避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の関係については、防災担当課、障がい福祉担当課、介護福祉担当課と連携し運用を行っている。 年1回名簿の更新を行い、協力いただける自治会や自主防災組織、民生委員・児童委員への提供を行うなどして、体制の整備を図っている。現状として、難病患者に特定した避難の必要性の把握は行っていない。	令和6年度に、高齢介護課の在宅要援護高齢者調査と一体的実施及び周知チラシのデザイン変更を行った。 令和7年度も同様の実施とし、10月に市内の要介護1～5の方及び昨年度以降に、「75歳以上のひとり暮らし」及び「75歳以上の高齢者のみ世帯」となった方に対し、様式を送付した。 ※令和6年度は発送時期時点の、「75歳以上のひとり暮らし」及び「75歳以上の高齢者のみ世帯」の方全員に送付	地区防災会を中心に個別避難計画の作成に取り組んでいる。引き続き対象者の個別避難計画の作成に取り組む。	昨年と同様の内容のほか、個別支援計画の作成支援者の人材確保が困難であるといった課題がある。

次年度以降、難病対策地域協議会で取り上げたいテーマや御意見がありましたら御記載ください

	行田市	加須市	羽生市	久喜市	蓮田市	幸手市	白岡市	宮代町	杉戸町
今後取り上げたいテーマ、御意見				令和8年度から難病患者に対し新たに実施する事業があれば教えて欲しい。 受給者証の申請時、職員対応について市に苦情が寄せられたケースがあった。	特になし	特になし			